送りがなプリント はってん②（ひとつずつ しらべ）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／ひとつの 文に 線の ことば ひとつ（5まいの うち ①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した	×思もう → ○思う
い	**「しい」の「し」が ない**	×美い → ○美しい
う	**そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない	×考る → ○考える

線の ことばが 正しいか しらべ、○か ×の どちらかに しるしを つけよう。
×は 正しく なおして 右の わくに 書き、記号（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 6こ。○の ことばは なおさない。線の ことばだけ しらべよう。

○か ×か　なおした 書き方（×の ときだけ）　記号

① きのう 海へ 行きました。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

② ゆうがた 川の そばを 歩るいて かえった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

③ 字を 正く かきました。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

④ きのうの 風は 冷たかった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑤ おわかれの 日は 悲かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑥ あしたの ことを 覚えます。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑦ しおが 満て きた。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑧ みんなで おおきな こえで 笑った。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑨ つくえの 上に ほんを 置いて ください。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑩ おばあちゃんの 家から 帰えった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑪ プールの あとで シャワーを 浴た。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑫ コップに 水を 満たさない ように。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

しらべかた：線の ことばを 声に 出して 読み、漢字が 読む ところと ひらがなを くらべよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（日記の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

ゆうきさんの　日記

十一月三日　はれ

今日は　運動会。朝から　校ていを　①走った。

白組と　力いっぱい　②戦かって、あいても　③親く　なった。

コースの　水たまりは　④浅かった　ので、すいすい　はしれた。

ゴールの　前に、ぼくは　かばんを　⑤置た。

先生が　「リレーの　せんしゅを　⑥選びます」と　いった。

ぼくの　組は　一てんを　⑦失なった。日は　グラウンドを　⑧照らして　いた。

まけた　子は　くやしくて　⑨泣いた。もらった　水は　⑩冷たくて、おいしかった。

ぼくの　運動ぐつは　⑪新くて、足が　いたかった。

ばんそうこうを　はって、きずを　⑫治た。

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。

おばあちゃんへ

お元気ですか。夏休みの　ことを　おばあちゃんに　①伝えます。

先月、ぼくの　たんじょう日を　家ぞくみんなで　②祝わった。

やきたての　ケーキは　③熱かった　けど、とても　おいしかった。

ぼくは　ココアに　さとうを　④加えない　ほうが　すきです。

学校では　ローマ字を　⑤習らった。クラスの　友だちとも　⑥親かった。

さいごの　日、ケーキを　一つ　⑦残して、おじさんと　⑧別れた。

かえりの　電車は　⑨新く　できた　えきに　とまった。

おじいちゃんは　犬を　⑩連れて、はたけに　小屋を　⑪建た。

こんど　あそびに　いく　ときは、さかなを　⑫焼いて　たべようね。

ゆうきより

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（おしらせ　さがし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／線が　ない　文から　さがす（5まいの　うち　④）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう	→ ○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い	→ ○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る	→ ○考える

おしらせの　文から、送りがなの　まちがいを　みつけて　○で　かこもう。
表に　正しく　書きなおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　5こ。線は　ひいて　ありません。送りがなの　ある　ことばを　1つずつ　しらべよう。

クラスの　おしらせ（ドッジボール大会）

来週の　金曜日、クラスで　ドッジボール大会を　ひらきます。

三チームが　力いっぱい　競そって、さいごまで　たたかいます。

ボールを　もつ　人は、手を　たかく　挙げて ください。

ルールは　先生と　いっしょに　改めます。

あたらしい　子を　チームに　加わえた　ので、ぜんぶで　十人です。

力を　あわせ、やくわりを　果たした　人には　金メダルを　あげます。

雨の　日は　体いくかんで、紙を　折って　つくった　ボールを　つかいます。

メンバーが　一人　欠た　ときは、あいている　子が　はいります。

ひとりでも 悲く　なって　いる　子が　いたら、先生に　いいましょう。

さいごは　みんなで　手を　結だ　ところで　おわります。

番号	まちがえた　ことば （ことばだけ　うつす）	なおした　書き方	記号 （あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（見なおし　チェック）

小4／まちがいの　わけを　ことばで（5まいの　うち　⑤）

なまえ

ひづけ

見なおし　チェック表　（自分の　作文を　書いたあとも　つかえます）

- あ　漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　して　いないか
- い　「しい」の「し」が　ぬけて　いないか
- う　ひらがなが　たりなくて　読めなく　なって　いないか

作文の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、まちがえた　わけを　ことばで　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　3こ。わけは　記号でなく　ことばで。れい：「美い」は「し」が　ない。

ゆうとさんの　作文「夏休み」

夏休みの　間、ぼくは　おじいちゃんの　店で　①働いて いた。

くる　おきゃくさんと　はなすのが　たのしくて、よく　②笑らった。

お昼は　おばあちゃんが　つくる　③温かくて　おいしい　ごはんを　たべた。

ノートに　毎日　かく　字も　④正くて　きれいだと　ほめられた。

夏休みの　おわりに、ぼくは　もっと　じょうずに　なりたいと　⑤望んだ。

さいごの　週は　雨が　⑥続た　ので、店は　すこし　ひまだった。

番号	○×	なおした　書き方	まちがえた　わけ（ことばで　書こう）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん②（ひとつずつ しらべ）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／ひとつの 文に 線の ことば ひとつ（5まいの うち ①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

- あ **送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した　×思もう → ○思う
- い **「しい」の「し」が ない**　×美い → ○美しい
- う **そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない　×考る → ○考える

線の ことばが 正しいか しらべ、○か ×の どちらかに しるしを つけよう。
×は 正しく なおして 右の わくに 書き、記号（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 6こ。○の ことばは なおさない。線の ことばだけ しらべよう。

○か ×か　なおした 書き方（×の ときだけ）　記号

① きのう 海へ 行きました。

○ × （なおさない） □

② ゆうがた 川の そばを ~~歩るいて~~ かえった。

○ × 歩いて あ

③ 字を ~~正く~~ かきました。

○ × 正しく い

④ きのうの 風は 冷たかった。

○ × （なおさない） □

⑤ おわかれの 日は ~~悲かった~~。

○ × 悲しかった い

⑥ あしたの ことを 覚えます。

○ × （なおさない） □

⑦ しおが ~~満て~~ きた。

○ × 満ちて う

⑧ みんなで おおきな こえで 笑った。

○ × （なおさない） □

⑨ つくえの 上に ほんを 置いて ください。

○ × （なおさない） □

⑩ おばあちゃんの 家から ~~帰えった~~。

○ × 帰った あ

⑪ プールの あとで シャワーを ~~浴た~~。

○ × 浴びた う

⑫ コップに 水を 満たさない ように。

○ × （なおさない） □

つまずきやすいところ

歩るいて・帰えった は 送りすぎの 例。行きました・冷たかった・覚えます は 長く 見えても 正しい 書き方。
正く のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント　はってん②（日記の　なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　〇思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　〇美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　〇考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、表に　〇か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。〇の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

ゆうきさんの　日記

十一月三日　はれ

今日は　運動会。朝から　校ていを　①走った。

白組と　力いっぱい　②~~戦かって~~（×→戦って）、あいても　③~~親く~~（×→親しく）なった。

コースの　水たまりは　④浅かった　ので、すいすい　はしれた。

ゴールの　前に、ぼくは　かばんを　⑤~~置た~~（×→置いた）。

先生が　「リレーの　せんしゅを　⑥選びます」と　いった。

ぼくの　組は　一てんを　⑦~~失なった~~（×→失った）。日は　グラウンドを　⑧照らして　いた。

まけた　子は　くやしくて　⑨泣いた。もらった　水は　⑩冷たくて、おいしかった。

ぼくの　運動ぐつは　⑪~~新くて~~（×→新しくて）、足が　いたかった。

ばんそうこうを　はって、きずを　⑫~~治た~~（×→治した）。

番号	〇×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	〇	（なおさない）	
②	×	戦って	あ
③	×	親しく	い
④	〇	（なおさない）	
⑤	×	置いた	う
⑥	〇	（なおさない）	

番号	〇×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	×	失った	あ
⑧	〇	（なおさない）	
⑨	〇	（なおさない）	
⑩	〇	（なおさない）	
⑪	×	新しくて	い
⑫	×	治した	う

つまずきやすいところ

戦かって・失なった は 送りすぎの 例。浅かった・選びます・照らして は 長く 見えても 正しい 書き方。
親く のように「しい」の「し」が ない まちがいは い。治た のように 動詞の「し」が ない まちがいは う に します。
〇の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

いちごドリル プリント

送りがなプリント はってん②（手紙の なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／手紙の 線の ことば（5まいの うち ③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した	×思もう → ○思う
い	**「しい」の「し」が ない**	×美い → ○美しい
う	**そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない	×考る → ○考える

手紙の 線の ことばを ぜんぶ しらべて、表に ○か ×を 書こう。
まちがいの かずは かいて ありません。×は なおして、記号（あ・い・う）も 書こう。

おばあちゃんへ

お元気ですか。夏休みの ことを おばあちゃんに ①伝えます。

先月、ぼくの たんじょう日を 家ぞくみんなで ②~~祝わった~~（×→祝った）。

やきたての ケーキは ③熱かった けど、とても おいしかった。

ぼくは ココアに さとうを ④加えない ほうが すきです。

学校では ローマ字を ⑤~~習らった~~（×→習った）。クラスの 友だちとも ⑥~~親かった~~（×→親しかった）。

さいごの 日、ケーキを 一つ ⑦残して、おじさんと ⑧別れた。

かえりの 電車は ⑨~~新く~~（×→新しく） できた えきに とまった。

おじいちゃんは 犬を ⑩連れて、はたけに 小屋を ⑪~~建た~~（×→建てた）。

こんど あそびに いく ときは、さかなを ⑫焼いて たべようね。

ゆうきより

番号	○×	なおした 書き方（×の ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	○	（なおさない）	
②	×	祝った	あ
③	○	（なおさない）	
④	○	（なおさない）	
⑤	×	習った	あ
⑥	×	親しかった	い

番号	○×	なおした 書き方（×の ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	○	（なおさない）	
⑧	○	（なおさない）	
⑨	×	新しく	い
⑩	○	（なおさない）	
⑪	×	建てた	う
⑫	○	（なおさない）	

つまずきやすいところ

祝わった・習らった は 送りすぎの 例。伝えます・熱かった・加えない は 長く 見えても 正しい 書き方。
親かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント　はってん②（おしらせ　さがし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／線が　ない　文から　さがす（5まいの　うち　④）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ　**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した　　×思もう　→　○思う

い　**「しい」の「し」が　ない**　　×美い　→　○美しい

う　**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない　　×考る　→　○考える

おしらせの　文から、送りがなの　まちがいを　みつけて　○で　かこもう。
表に　正しく　書きなおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　5こ。線は　ひいて　ありません。送りがなの　ある　ことばを　1つずつ　しらべよう。

クラスの　おしらせ（ドッジボール大会）

来週の　金曜日、クラスで　ドッジボール大会を　ひらきます。

三チームが　力いっぱい　競そって、さいごまで　たたかいます。

ボールを　もつ　人は、手を　たかく　挙げて ください。

ルールは　先生と　いっしょに　改めます。

あたらしい　子を　チームに　加わえた　ので、ぜんぶで　十人です。

力を　あわせ、やくわりを　果たした　人には　金メダルを　あげます。

雨の　日は　体いくかんで、紙を　折って　つくった　ボールを　つかいます。

メンバーが　一人　欠た　ときは、あいている　子が　はいります。

ひとりでも　悲く　なって　いる　子が　いたら、先生に　いいましょう。

さいごは　みんなで　手を　結だ　ところで　おわります。

番号	まちがえた　ことば （ことばだけ　うつす）	なおした　書き方	記号 （あ・い・う）
①	競そって	競って	あ
②	加わえた	加えた	あ
③	欠た	欠けた	う
④	悲く	悲しく	い
⑤	結だ	結んだ	う

つまずきやすいところ

○の まま よい ことば（長く 見えても 正しい 書き方）：挙げて・改めます・果たした・折って
競そって・加わえた は 送りすぎの 例。
悲く のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント　はってん②（見なおし　チェック）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／まちがいの　わけを　ことばで（5まいの　うち　⑤）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

見なおし　チェック表　（自分の　作文を　書いたあとも　つかえます）

- あ　漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　して　いないか
- い　「しい」の「し」が　ぬけて　いないか
- う　ひらがなが　たりなくて　読めなく　なって　いないか

作文の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、まちがえた　わけを　ことばで　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　3こ。わけは　記号でなく　ことばで。れい：「美い」は「し」が　ない。

ゆうとさんの　作文「夏休み」

夏休みの　間、ぼくは　おじいちゃんの　店で　①働いて いた。

くる　おきゃくさんと　はなすのが　たのしくて、よく　②~~笑らった~~（×→笑った）。

お昼は　おばあちゃんが　つくる　③温かくて　おいしい　ごはんを　たべた。

ノートに　毎日　かく　字も　④~~正くて~~（×→正しくて）　きれいだと　ほめられた。

夏休みの　おわりに、ぼくは　もっと　じょうずに　なりたいと　⑤望んだ。

さいごの　週は　雨が　⑥~~続た~~（×→続いた）　ので、店は　すこし　ひまだった。

番号	○×	なおした　書き方	まちがえた　わけ（ことばで　書こう）
①	○	（なおさない）	
②	×	笑った	「笑う」は「わら」の「ら」まで ひらがなに して いる（送りすぎ）。
③	○	（なおさない）	
④	×	正しくて	「正しい」の「し」が ぬけて いる。
⑤	○	（なおさない）	
⑥	×	続いた	「続く」の 送りがなが たりなくて、「つづた」と 読めない。

丸つけの めやす

わけは どんな ことばでも よい。つぎの 考え方が 入って いれば ○（記号だけは ×）：

- □ あ：漢字が 読む ところ（「わら」の「ら」など）まで ひらがなに している
- □ い：「しい」の「し」が ぬけている
- □ う：ひらがなが たりなくて 正しく 読めない